

I 平成22年度 総括

平成22年度は、当財団にとって、新公益法人法に基づく公益財団法人の移行に向けて、新たな財団の姿勢を示していく重要な転換期となりました。

昨今の経済状況の中、国においては事業仕分けなど様々な経費削減が行われ、豊田市においても昨年より続く法人市民税に加え、個人市民税の大幅な減収により、当財団の財政状況も厳しい状況となり、あわせて豊田市からの派遣職員の引揚計画や運営費補助金の見直しなどにより、財団を取り巻く環境も大きく変化してきました。

このような状況の変化を受け、平成22年度は、財団の将来の安定的な経営に向け、なお一層の努力が求められる年度となりました。

平成22年度は、以下の取り組みを重点項目に置き、市とともに着実に事業を実施するとともに、引き続き、市民や行政などから信頼される財団経営に努めました。

1 公益財団法人への移行

- ◆ 当財団が目的とする「公益の増進及び創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現に資する」を推進し、事業の柱である「文化及び芸術の振興」、「青少年の健全な育成の推進」及び「生涯学習活動の推進」に係る事業を充実するため、また、豊田市の外郭団体としての責任と役割を果たすために、公益財団法人への移行を目指し、愛知県教育委員会及び愛知県法務文書課と移行認定の協議を行いました。
- ◆ 平成22年11月16日に愛知県に移行認定申請書を提出し、愛知県公益認定等審議会の審議を経て、平成23年3月22日に愛知県から公益認定を受け、平成23年4月から公益財団法人として新たなスタートを始めました。

2 市民文化の活性化の推進

- ◆ 文化芸術の鑑賞機会の充実として、文化会館を始めとしてコンサートホール及び能楽堂において、芸術性の高い公演と親しみやすい公演をバランスよく開催しました。また、実際に鑑賞するだけでなく、表現する楽しさを体験できる機会を積極的に提供しました。
- ◆ 豊田市の文化活動の中心的な役割を担う豊田文化団体協議会の組織や運営を支援するとともに、豊田市全域の文化活動のレベル向上のため、「とよた市民芸能交流大会」、「とよたストーリーテリングフェスティバル」など地域文化を振興する事業を実施しました。
- ◆ 平成23年の市制60周年に向け、市民とともに祝い、あわせて文化による市民交流の促進と市民の文化力を高めるため、市民企画の文化芸術事業を募集するなど、記念事業の企画を行いました。

3 青少年健全育成の推進

- ◆ 近年、「若者の自立支援」、「青少年の居場所づくり」、「未婚晩婚化」が社会問題になっており、青少年センターでは、こうした青少年を取り巻く様々な問題への対応として講座の企画など、積極的な取り組みを行いました。
- ◆ 青少年の創造性を育む一環として、市民の科学やものづくりに関する関心や興味を助長させるため、プラネタリウムでは、レンタル番組のほかに生解説を主体とした番組の充実を図りました。
- ◆ 豊かな心や健やかな体の育成のために、体験を通じて「生きる力」を身につけることを目的として、事業の企画及び実施をしました。文部科学省の推進する長期宿泊活動を踏まえた4泊5日の移動キャンプ、キャンプスタッフの育成、また、施設の特徴を生かした体験プログラムを展開しました。子ども会の宿泊については、安心して宿泊での野外活動体験ができるように看護師を配置し、活動プログラムの立案から当日の運営までを施設側で全面的に支援し、子ども会役員の負担軽減による積極的な宿泊参加の機会を提供しました。

4 生涯学習の推進、地域活動の支援

- ◆ 交流館では、「人づくり、地域づくり、生きがいくくり」の基本方針を推進するため、平成22年度の交流館事業の4つのキーワードである、①シニア世代の生きがいくくり、②子ども・親、③環境、④地域を考える、を踏まえ様々な事業を展開しました。
- ◆ 交流館が主体となり、コミュニティ会議、自治区、地域会議、支所、交流館活動団体と連携し、各地域の特色ある地域活動を積極的に支援しました。

5 効率的な組織運営の推進、職員の人材育成

- ◆ 次世代を担う子どもや社会基盤を支える青年対策を効率的かつ効果的に行うため、当財団の組織を一部見直し、子どもを対象とした「ものづくり事業」、「科学体験館事業」を行っている豊田産業文化センターを総務部の所管から青少年部の所管へ移管しました。
- ◆ 豊田市派遣職員の引き揚げに伴い、情報収集への対応が今後の課題となるため、財団職員の責任と自覚を促し、こうした状況に対応できるよう人材育成の研修を実施しました。また、昇任者の自覚を高める通信教育研修、OJTをより効果的にするための職場内研修、国内派遣研修、施設利用者に安全・安心して利用していただくための防災訓練や救急救命研修、サービス助士資格取得研修などのほか、様々な集合研修を実施しました。

Ⅱ 平成２２年度事業報告概要

【１ 文化・芸術の創造、発信及び普及に関する事業】

舞台芸術を中心とした自主公演、主催公演を実施するとともに芸術分野（絵画、書、写真、工芸など）における作品の展示会を実施し、市民に芸術に直接触れる機会を提供することにより、質の高い文化・芸術の創造と発信、普及を図りました。また、文化・芸術に関する各分野の専門知識や技能を習得する講座や体験活動を実施することにより、知識の普及と啓発、人材育成を図りました。

（１）文化・芸術の創造、発信及び普及を図るための事業

主な事業

○ 第３回とよた市民芸能交流大会（文化事業課）

合併旧町村の文化団体との交流を目的に、地域の文化団体と協力し合い実行委員会を立ち上げ事業を企画、実施することにより、文化芸術の発表や芸能交流により地域の活性化を図りました。

○ 公共ホール演劇ネットワーク事業（市民文化会館）

日本初の県立プロ劇団「ピッコロ劇団」を招き、アウトリーチのワークショップと演劇公演を行いました。ワークショップでは創造力や自己表現力、コミュニケーション能力を伸ばし、あわせて演劇に触れる機会を増やし、観客の創出と育成を図りました。

○ ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団（コンサートホール・能楽堂）

パーヴォ・ヤルヴィ指揮、ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団によるオール・ベートーヴェン・プログラムのコンサートを提供しました。

（２）文化芸術に関する人材育成を図る事業

主な事業

○ 舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー（文化事業課）

総合舞台芸術である演劇を通して、演出、プロデュース、広報など舞台製作一般を学ぶ機会を提供しました。前半は舞台講義や実技、後半は修了公演に向けて学び、その後は文化ボランティアとして活躍できるまでの人材育成を図りました。

○ 青少年音楽教室（コンサートホール・能楽堂）

市内児童・生徒を対象に音楽教室を開催し、演奏法の基礎を学びながら音楽に触れ合う機会を提供しました。

【2 文化・芸術活動の奨励及び支援に関する事業】

市民の文化・芸術活動が、文化・芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表といったより創造的な活動へと発展できるよう、その環境づくりを推進するため、文化・芸術を支える芸術家や専門家あるいは個人及び団体に対して表彰、コンクール、競技会を実施するとともに、地域で積極的に文化活動を展開している個人や団体に活動の経費を助成することにより、主体的、創造的な文化活動の支援・奨励を図りました。

（１）地域住民主導による主体的、創造的な活動の支援・奨励を図る事業

主な事業

○ 平成２２年度財団大会（文化事業課）

財団の基本方針を内外に示すとともに、地域の文化振興や青少年健全育成に業績をあげた功労者を表彰しました。

○ 市民参加事業（文化事業課）

公募により市民総合文化祭への参加を認定された市民団体の文化行事に対して、助成を行いました。

○ 文化団体活性化事業（文化事業課）

文化団体の開催する事業を後援し広くＰＲするなど、地域で活動する文化団体を様々な角度からサポートすることで自立と活性化を推進し、文化による地域づくりを支援しました。

○ 第９回竹とんぼ子どもフェスティバル（文化事業課）

市内の竹とんぼ愛好家を中心に、子どもを対象にした竹とんぼ作りと大会を合わせたフェスティバルを行い、創造的な活動の支援・奨励を図りました。

【3 文化・芸術の情報収集及び提供に関する事業】

地域文化の歴史や地域の偉人、伝統芸能や文化事業などの実態の調査、資料収集を行い、その情報を基に様々なかたちで情報を発信し、提供することによって、文化・芸術情報を広く市民に提供し、地域文化の保存、伝承、普及を図りました。

（１）地域文化の歴史、伝統芸能、文化事業などの調査、情報収集及び保存を行う事業

主な事業

○ とよた定点観測（文化事業課）

毎年４月１日に豊田市駅周辺の定められた場所でのビデオ撮影、また年間を通じて豊田市全域の定められた場所で写真撮影をし、街並みや自然、人々の生活を捉え、継続的なデータ保存を行いました。

○ とよたの人物記アニメ制作事業（視聴覚ライブラリー）

豊田市にゆかりの偉人を取り上げ、その生い立ちや功績を子どもから大人まで広く市民に伝えるため、アニメ化した映像による学習教材を作成し、学習に活用していただけるようＰＲ活動を行いました。

（２）文化・芸術情報を提供し、もって地域文化の伝承、普及を図る事業

主な事業

○ 文化情報誌「カレント」発行（文化事業課）

市内の文化情報を網羅した情報誌を年４回発行しました。カレント購読者をはじめ交流館などの公共施設や市役所、小中学校、西三河の文化協会などに３０００部を配布し、地域の文化芸術情報の提供を行いました。

○ ＣＡＴＶ文化情報番組制作（文化事業課）

地域文化を市民サイドから考える文化情報番組（３０分間）を制作し、ひまわりネットワークで放映しました。多くの人たちに身近な番組として興味を持って視聴いただける番組制作を行いました。

【4 青少年の健全育成に関する事業】

子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化する中、児童並びに青少年の健全な育成を図るために、家庭、学校、地域社会が連携を密にし、子どもたちの自立と社会参加を促す事業を実施しました。豊田市からの委託を受けた豊田市青少年センター、豊田市総合野外センター、豊田産業文化センターを活動拠点とし、自主事業である青少年団体のリーダー養成、ボランティア体験、野外活動や自然観察を通じた情操教育、ニートやひきこもり対策、子どもたちの居場所づくり・仲間づくりなど様々な事業を実施しました。また、音楽活動や科学体験を通し、青少年の健やかな成長を図りました。

（１）青少年の社会参加と勤労青少年の福祉の向上を図る事業

主な事業

○ 新春こども体験会（青少年センター）

青少年や青少年団体との連携・協力により、もちつき体験やものづくり体験などを企画・実施し、利用者との相互協力体制を強化するとともに、地域住民との交流を図りました。

○ 高校生ボランティアスクール（青少年センター）

保育コース・福祉コース・レクリエーションコースといったボランティア活動や地域・社会参加の体験を通して、自立心と思いやりのある高校生のリーダーを育成しました。

○ クリスマスパティー（青少年センター）

公募による青年の実行委員会の企画・運営により、男女211人の参加によるクリスマスパーティーを市内ホテルで開催し、男女の健全な出会いと交流の場を提供しました。

（２）野外活動を通じて青少年の健全育成を図る事業

主な事業

○ 山の子学級（野外センター）

六所山の自然の中で実施する年間5回のキャンプ活動を通して、自然の中で生きていくための知恵や、仲間と協力しながら問題を解決する力をつける機会を提供しました。

○ 六所のつどい（野外センター）

集団での野外活動を通して、仲間づくりや協力することの大切さを学ぶとともに、季節に応じた自然の中での活動から、自然の大切さやすばらしさを知る機会を提供しました。

○ 宿泊モデル子ども会事業（野外センター）

子ども会が宿泊して容易に野外活動体験ができるよう、活動プログラムの立案から当日の運営までを施設側で全面的に支援しました。

(3) 音楽活動、科学体験活動を通じて青少年の情操教育を図る事業

主な事業

○青少年音楽3団体の企画運営（文化事業課、コンサートホール・能楽堂）

「少年少女合唱団」「ジュニアマーチングバンド」「ジュニアオーケストラ」の3団体の活動を企画運営し、演奏活動を通して青少年の豊かな情操を養うとともに、定期演奏会、各種イベント出演などを通して社会参加を果たし、豊田市の青少年の音楽活動の中核となり、音楽文化の向上に寄与しました。

○星空散歩（産業文化センター）

年間を通じて、月ごとのテーマに沿ったオリジナルの星空解説を実施し、既存プラネタリウム番組では紹介できない天文に関する話題を提供し、天文学への関心を高める番組を提供しました。

○ものづくりひろば、サイエンスショー（産業文化センター）

年間を通じて、幼児から小学生の親子がものづくりの楽しさを体験するワークショップの開催や、科学の原理を紹介するパフォーマンスあふれる実験ショーを開催し、子どもたちのものづくりや科学への関心を高める機会を提供しました。

○プラネタリウムコンサート（産業文化センター）

美しい星空や幻想的な宇宙空間の映像をバックに、星座神話や天文学などの星にまつわる話と、心に響く生演奏のコンサートを開催し、自然を敬い音楽を愛する心を育てる機会を提供しました。

○夏休み自由研究相談会（産業文化センター）

夏休みの小中学生を対象に、専門分野ごとに理科教員による自由研究の相談会を開催しました。子どもたちの好奇心や不思議に思う気持ちを大切に、科学的探究心の育成を図りました。

(4) 青少年団体の育成支援事業

主な事業

○青少年団体支援事業（青少年センター）

青年サークルや青少年団体との共働事業を企画・実施することにより、青年リーダーや団体指導者を養成するとともに、青少年団体の組織拡大と活動の活性化を図りました。

○豊田市青少年団体傷害互助会（青少年センター）

子ども会など青少年団体活動の安全確保と事故防止のため、安全意識の高揚を図るとともに、不慮の事故に対する見舞金等の給付を行い、活動の推進と救済に努めました。

【5 生涯学習の機会の提供及び地域活動の支援に関する事業】

市民一人ひとりが自己の能力と可能性を最大限に伸ばし、自己実現することができる生涯学習社会の実現を図ることを目的とし、幅広い年代の市民の高度で多様な学習要求や健康、環境、子育て、地域課題などの現代的課題に対応した講座やセミナーを開催し、市民自らが主体的に関わることができる生涯を通じた学習機会の場を提供しました。各交流館では、各コミュニティ会議における運営に関する事務を行うとともに、コミュニティ活動に必要とされる知識・技術の習得にむけた各種講座や事業を実施するなど、各地域のコミュニティ会議を全面的に支援しました。

（１）地域住民の学習機会を提供する事業

主な事業

○ 家庭教育講座、子ども・高齢者向け講座、環境講座、防災・防犯講座など（交流館）

市民一人ひとりが生涯にわたって自由に学び、学んだことを地域や社会に生かすことで豊かな生活を築けるように「シニア世代の生きがいづくり」、「子ども・親」、「環境」、「地域を考える」をキーワードとした事業を実施しました。（事業数608件）

○ ふれあいまつり（交流館）

地域の人たちの交流を深めるとともに、自主グループの学習成果の発表の場を提供しました。

○ はじめての囲碁教室（藤岡ふれあいの館）

地域との結びつきを深めるために地元サークルと共働で、地域住民の生涯学習の機会を提供しました。

（２）地区コミュニティ会議に対する相談・助言、その他必要な支援を行う事業

○ 地区コミュニティ会議事務局（交流館）

地域住民の住みよいまちづくりに向け、コミュニティ会議や地域で活動する団体などとコミュニケーションを図り、地域の活性化や課題解決に結びつける事業を展開しました。

Ⅲ セクション別事業報告

1 文化事業課

文化活動のコーディネーターとして、豊田市の文化芸術の特性や市民ニーズに合った文化事業、文化施設の専門性を生かした事業を実施しました。また、合併した地域を始め、文化団体とのネットワークをさらに広げ、交流を深めるとともに、豊田市との連携・協力により効果的な文化事業を展開し、豊田市の「文化力」の発信に努めました。

■事業

地域の文化を振興する事業として、「ジュニアブラスコンサート」、「市民民謡講習会」、「夏休みこども博覧会」などを実施し、特に「とよたストーリーテリングフェスティバル」では、合併した旧町村の農村舞台を活かした地域づくりとして、地域の協力を得て4ヶ所で実施しました。また、市内の文化団体などと連携して実施する事業では、「秋季市民茶会」、「文化団体活性化事業」、「文化情報誌カレント発行」をはじめ、市制60周年記念事業に向けて、文化団体との共働で事業の企画提案をし、合わせて文化祭を見直すなど、文化活動の交流と広がりテーマに事業を展開しました。

■運営

厳しい経済状態の中、実行委員会形式の事業は、事務局との役割分担、運営方法や経費などを見直し、協賛先の確保などを検討し、将来的な自立を踏まえ、より効率的な運営を目指しました。文化事業課は、文化団体の活動として、「とよた市民芸能交流大会運営部会」「地域団体活性化部会」の2部会を提案し、委員の自発活動を促進するとともに、古くから伝わる伝統文化を生かした文化活動や合併旧町村の文化団体組織化を図り、全市的な広がりのある文化芸術活動を推進しました。

事業一覧

【文化・芸術の創造、発信及び普及に関する事業】

文化・芸術の創造、発信及び普及を図るための事業

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
市民ギャラリー展	5月21日 ～23日 6月25日 ～27日	1,143人	作品展 展示会	文化団体協議会加盟団体の総合による作品展示を奨励し、ギャラリーの活性化を図った。	自主
とよたアートナウ 2010	3月8日 ～13日	661人	作品展 展示会	美術文化の振興と発展を図るため会派を越えた地域の作家による企画展を開催した。	自主
第21回 歳末チャリティー作品展	12月10日 ～12日	386人	作品展 展示会	文化団体協議会加盟展示部門の作品を廉価で頒布し、その収益を社会福祉などに貢献する作品展を開催した。	自主

第35回お茶と花と文化講演のつどい	3月18日 ～21日	中止	作品展 展示会	文化講演を聴き、お茶と花に親しみ伝統文化の普及を図る。(東日本大震災の影響により中止)	自主
第14回国際交流写真展	2月11日 ～13日	640人	作品展 展示会	韓国仁川市の女性写真グループととよたレディースフォトクラブによる草の根の国際交流写真展を開催した。	自主
子どもによる日本の伝統芸能	7月28日	500人	自主公演	小中学校で日本の伝統芸能を学ぶ子どもたちを集め発表会を行い、後世への伝統芸能の継承を図った。	自主
西三河高等学校演劇合同発表会	10月30日 ～31日	300人	自主公演	西三河地区の高校演劇部による手作りの演劇発表会で、将来の舞台スタッフを育成した。	自主
野外箏曲演奏会	11月7日	259人	自主公演	市民茶会を彩る箏曲演奏会を開催した。	自主
吹奏楽フェスティバル2010	11月3日	1,800人	自主公演	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高等学校吹奏楽の演奏会を開催した。	自主
豊田芸術選奨受賞記念公演	12月19日	870人	自主公演	平成20年度豊田芸術選奨受賞者諏訪 等 氏の記念公演を開催した。	自主
秋季市民茶会	11月7日	941人	体験活動等	市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催した。	自主
第10回とよたストーリーテリングフェスティバル	9月3日 ～5日 9月10日 ～12日	612人	自主公演	語りや音楽などで民族の誇りや伝承文化を伝えるストーリーテラーによる移動公演を開催した。	共催
ジュニアブラスコンサート	11月3日	1,200人	自主公演	小学校金管バンドによる演奏会を開催した。	共催
第3回とよた市民芸能交流大会	11月7日	800人	自主公演	芸能大会を開催し地域間の文化交流、市民交流の場を提供した。	共催
第24回西三河文協美術展	8月4日 ～8日	出品者 20人	作品展 展示会	県文連加盟の西三河文化協会による美術展に参加した。	その他
第35回愛知県文連美術展	12月21日 ～26日	出品者 16人	作品展 展示会	県文連が県民の美術文化振興を目的に開催する公募による総合美術展に参加した。	その他
おいでんオープニングイベント	7月24日	120人	自主公演	おいでんまつりのオープニングを盛り上げるイベントの企画運営に参加した。	その他
愛知県文連芸能大会(西三河部)	9月26日	豊田から 1団体参加	自主公演	県文連加盟西三河部の文化協会による芸能大会に参加した。	その他

愛知県民茶会(三河部)	11月28日	豊田から 1団体参加	体験活動等	県文連加盟の東西三河文化協会による茶会に参加した。	その他
-------------	--------	---------------	-------	---------------------------	-----

文化芸術に関する人材育成を図る事業

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
盆太鼓講習会	6月26日	32人	講座、セミナー 育成	盆太鼓の基礎、22年度民踊講習会の曲目を学ぶ講習会を開催した。	自主
【新】 文化団体指導者研修会	通 年	33人	講座、セミナー 育成	市内文化団体指導者の交流及び研修会を開催した。	自主
【新】民謡を唄う会	通 年	177人	講座、セミナー 育成	民謡の持つ明るさ、楽しさを知っていただく、楽しく分かりやすい講習会を開催した。	自主
こども アート体験プログラム	通 年	280人	体験活動等	和楽器・日舞体験学習やアート体験プログラムなどのワークショップを開催し、子どもたちに文化体験の機会を提供した。	自主
第42回 市民民踊講習会	6月13日	1,500人	講座、セミナー 育成	地域や職域で開催する盆踊り大会のため新作などを取入れた踊りの講習会を開催した。	共催
舞台芸術人材育成事業 (とよた演劇アカデミー)	通 年	のべ 1,975人	講座、セミナー 育成	演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成した。	共催
第10回 夏休みこども博覧会	7月28日 ～31日	3,664人	体験活動等	絵本の読み聞かせや展示、ワークショップによる手作りのこども博覧会を開催した。	共催

【文化・芸術活動の奨励及び支援に関する事業】

地域住民主導による主体的、創造的な活動の支援・奨励を図る事業

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
平成22年度財団大会	6月6日	777人	表彰 コンクール	財団の基本方針を内外に示すとともに、地域の文化振興や青少年健全育成に業績をあげた功労者を表彰した。	自主
とよた連句まつり	募集7～9月 表彰 9月20日	句数 14,085	表彰 コンクール	全国の高校から付け句を募集しコンクールを開催した。	自主
市民俳句会	11月3日	162人	表彰 コンクール	公募による俳句会を開催した。	自主
市民短歌大会	11月3日	92人	表彰 コンクール	公募による短歌大会を開催した。	自主
第22回 とよたビデオコンテスト	募集6～11月 表彰 12月18日	応募59 表彰式 入場者 45人	表彰 コンクール	全国公募のビデオコンテストを開催した。	自主

第49回全日本 かるた選手権大会	4月17日 ～18日	100人	競技会	名人戦・選抜大会と並ぶ全国 三大競技かるた大会に発展し た大会を全日本かるた協会と 共催し開催した。	自主
第9回竹とんぼ 子どもフェスティバル	12月12日	35人	競技会	青少年にものづくりを通して創 造性の心や科学の目を育てる 機会を提供した。	自主
文化団体活性化事業	通 年	—	助成	文化団体の活動をさまざまな 角度から支援し、文化団体の 自立と活性化を推進するため の助成を行った。	自主
国際交流推進事業	通 年	—	助成	文化団体が主体的に行う国際 文化交流事業に対して助成を 行った。	自主
地域間文化交流 推進事業	通 年	4 件	助成	文化団体が行う地域間の交流 を目的とした事業に対して助 成を行った。	自主
市民参加事業	9月1日～ 12月31日	参加団体 37人 総入場者 30,254人	助成	公募により市民総合文化祭参 加を認定された市民団体の文 化行事に助成を行った。	共催
第18回 とよたフォトドキュメント	募集10～1月 展示2月4日 ～6日	263人	表彰 コンクール	豊田市内の出来事や市民の 生活・風習をとらえた写真の 公募展を開催した。	共催
第6回とよたふれあい 将棋フェスティバル	6月26日	129人	競技会	こどもによる将棋対局や指導 将棋など親子のふれあいの機 会提供と将棋の普及を図った。	共催
第31回とよた囲碁まつり	2月6日	153人	競技会	クラス別の囲碁対局やプロ棋 士の指導碁を通じて市民の交 流を図った。	共催

【文化・芸術の情報収集及び提供に関する事業】

地域文化の歴史、伝統芸能、文化事業などの調査、情報収集及び保存を行う事業

事業名	期 日	人 数	内 容	事業区分
とよた定点観測	4月1日	—	調査 資料収集 毎年4月1日を観測日に定 め、豊田市の変遷を写真とビ デオで記録、保存を行った。 (豊田アーカイブ)	自主

文化・芸術情報を提供し、もって地域文化の伝承、普及を図る事業

事業名	期 日	人 数	内 容	事業区分
文化情報誌 「カレント」発行	4月・7月 10月・1月 発行	3,000部 ×4回	情報の提供 市内で開催されるあらゆる文 化情報を網羅した情報誌を発 行した。	自主
CATV 文化情報番組 制作	通 年	—	情報の提供 地域文化を市民サイドから考 える文化情報番組を制作、ひ まわりネットワークで放映した。	共催

FM 放送番組企画	通 年	—	情報の提供	ラジオラビートを活用し地域の文化情報をオンタイムで発信した。	共催
-----------	-----	---	-------	--------------------------------	----

【青少年の健全育成に関する事業】

音楽活動、科学体験活動を通じて青少年の情操教育を図る事業

事業名	期 日	人 数	内 容		事業区分
豊田市少年少女合唱団運営	通 年	団員 133 人	講座、セミナー 育成	豊田市少年少女合唱団の企画運営を行った。定期演奏会入場者 1,004 人	受託
豊田市ジュニアマーチングバンド運営	通 年	団員 74 人	講座、セミナー 育成	豊田市ジュニアマーチングバンドの企画運営を行った。定期演奏会入場者 1,500 人	受託

2 市民文化会館

豊田市の芸術文化の拠点施設として、芸術文化の創造発信と賑わいを創出し、様々な市民が芸術文化に親しむ機会を提供し、豊田市民文化会館の存在感向上に努めました。また、市民による主体的な芸術文化活動を支援するとともに、市民のニーズにきめ細かく対応できるよう、施設の管理・運営の工夫を進めました。

■事業

音楽・古典芸能・演劇・講演など様々なジャンルの鑑賞事業を開催し、様々な市民に芸術文化に親しむ機会を提供しました。特に今年度は小ホールのライブハウス的な鑑賞空間を有効に活用したジャズコンサートや、とよた寄席、コンテンポラリーダンスなどの公演、また、大ホールではディズニーマジックや舞台サーカス、パントマイムなど幅広く質の高い鑑賞事業を行いました。

■運営

職員個々の能力を高め、利用者に施設の効果的な利用方法を助言するなど内容の濃いサービスの提供、市民ニーズへのきめ細やかな対応、そして、公平で公正な施設運営を目指しました。また、施設・設備等の点検を強化して、「安全」、「安心」、「快適」な施設を提供しました。

事業一覧

【文化・芸術の創造、発信及び普及に関する事業】

文化・芸術の創造、発信及び普及を図るための事業

事業名	期日	人数	内	容	事業区分
NHK新規番組 公開録画公演	12月12日	3,400人	主催公演	NHKの新規キャラクター番組の公開録画を実施し、幼児期から舞台芸術に親しむことで、情緒豊かな人格の形成を図る機会を提供した。	自主
辛坊治郎講演会	9月25日	360人	主催公演	流行や時事問題などをテーマに、時流にあった講師による講演会を提供した。	自主
レニングラード 国立舞台サーカス	8月21日 2回公演	1,783人	主催公演	舞台サーカスを通して、将来を担う子ども達に夢と感動を提供し、情操教育の機会を提供した。(2回公演)	自主
とよた寄席 ①立川志らく・ 柳家喬太郎二人会 ②四代目桂塩鯛 襲名披露公演	①7月31日 ②1月29日	781人	主催公演	東西の名人による寄席を実施し、笑いを通して心豊かな時間を提供した。	自主

ディズニーライブ 「ミッキーとハッピーバースディくまのプーさん」	5月8日 ～9日 6回公演	7,700人	主催公演	ディズニーの人気キャラクターによるミュージカルを実施し、幼い頃から舞台芸術に親しむことで、情緒豊かな人格の形成を図る機会を提供した。	自主
秋元順子 スペシャルコンサート	7月6日	1,174人	主催公演	優れた舞台芸術鑑賞事業を実施し、心豊かな時間を提供した。	自主
アコースティックライブ ① サーカス ② 加藤登紀子	①12月19日 ② 2月25日	818人	主催公演	良質な音楽をライブハウスのような空間で楽しめるコンサートを実施し、心豊かな時間を提供した。	自主
ジャズスーパーライブ 2010 (3回シリーズ) ① マユミロウクインテット ② 大野雄二トリオ ③ 寺井尚子カルテット	①6月25日 ②9月3日 ③11月5日	1,080人	主催公演	実力派の出演者を揃え、クオリティーの高いジャズを市民に提供した。	自主
がーまるちょばサイレント コメディ in TOYOTA	10月1日	1,041人	主催公演	国際的に評価の高いパントマイムのパフォーマンスショーを実施し、心豊かな時間を提供した。	自主
奈良と豊田の子どもたちの交流演奏会 創作ミュージカル 「森に生かされて」 & ジョイントコンサート	8月1日	850人	主催公演	森の大切さ、自然への感謝の気持ちを奈良市民の手づくりの創作ミュージカルを通して市民に伝えるとともに、豊田市少年少女合唱団とのジョイントコンサートを行い文化交流を図る機会を提供した。	自主
劇団四季 心の劇場	10月17日	987人	主催公演	劇団四季の公演に市内の小学生を無料で招待し、豊かな心を育む機会を提供した。	自主
【新】公共ホール 演劇ネットワーク事業	9月14日 ～19日	663人	主催公演	日本初の県立プロ劇団「ピッコロ劇団」のアウトリーチ事業と公演により、演劇の持つ力と可能性を基に、創造的な思考や人とのコミュニケーション能力を高め、豊かな心を育む情操教育の機会を提供した。	自主
【新】公共ホール 現代ダンス活性化事業	2月15日 ～20日	362人	主催公演	コンテンポラリーダンスの公演とアウトリーチを通して、市民が創造的で文化的な交流を図り、豊かな心を育む情操教育の機会を提供した。	自主

市民文化講座 『映画塾』 Ⅳ期・Ⅴ期・Ⅵ期	5月～3月 全18回	Ⅳ期 67人 Ⅴ期 70人 Ⅵ期 70人 のべ 1,122人	講座、セミナー育成	大小ホール以外の施設の有効利用と市民の人材を活かした文化講座を開催した。熟年層・団塊の世代の方に、楽しく分かりやすい教養講座を実施し、映画を通じて人生の喜び悲しみを知り感動を得る機会を提供した。	自主
-----------------------------	---------------	--	-----------	---	----

利用実績

○市民文化会館

施設名	件数	人数	利用内容
大ホール	202	160,546	演奏会・講演会・研究大会等
小ホール	275	61,597	ピアノ発表会・講演会等
展示室A	124	30,870	絵画・彫塑・書道・花展等
展示室B	145	19,771	〃
リハーサル室・練習室	756	34,461	音楽・舞踊等各種リハーサル
会議室・和室	377	6,516	茶華道・会議等
計	1,879	313,761	

○市民ギャラリー

施設名	件数	人数	利用内容
展示室A・B・C	350	25,478	絵画・彫塑・書道・花展等

○総合計

総合計	2,229	339,239	
-----	-------	---------	--

3 視聴覚ライブラリー

広く市民に親しまれ、有効活用していただく視聴覚教材や機材の利用の促進を図るとともに、学習教材の制作を実施しました。講習会などを通じて、市民に視聴覚機器の普及を図るとともに、その後はボランティア活動などにつながるような事業の展開を図りました。

■事業

ビデオ講習会などを通して視聴覚教材操作の習熟を進め、ビデオ機器の活用を図りました。映像ボランティアの育成にも力を入れました。映像ボランティアと連携して視聴覚教材制作することにより、充実した学習教材の提供を図りました。「視聴覚だより」「視聴覚教育要覧」の発行や「ホームページ」などの活用により、学校教育、生涯学習分野へ広く情報の発信を進めました。

■運営

視聴覚教材、機材に精通するための研修をすすめ、利用者の支援などきめ細かな市民サービスに努めました。また、市民の文化活動を推進するため、職員の資質向上や定期的な施設の安全確認を進め、効率的、効果的、かつ安全・安心で快適に利用していただくことのできる施設づくりのための環境整備を図りました。施設のPR活動に積極的に取り組み、市民に親しまれる施設をめざした運営を行いました。

事業一覧

【文化・芸術の創造、発信及び普及に関する事業】

文化芸術に関する人材育成を図る事業

事業名	期 日	人 数	内 容	事業区分
ビデオ講習会他 各種講習会事業	通 年	19 人	講座、セミナー 育成 視聴覚機器活用の裾野を広げるためのビデオ講習会などを実施した。	受託

【文化・芸術の情報収集及び提供に関する事業】

地域文化の歴史、伝統芸能、文化事業などの調査、情報収集及び保存を行う事業

事業名	期 日	人 数	内 容	事業区分
映像による 豊田の文化証言記録	通 年	—	調査 資料収集 地域の文化を担った先達の思想や業績などを映像により記録し活用した。	受託
とよたの人物記 アニメ制作事業	通 年	—	調査 資料収集 豊田市にゆかりの人物にスポットをあて、子供から大人まで感動できるアニメ作品を制作した。	受託
視聴覚だより及び 視聴覚教育要覧の発行	通 年	—	調査 資料収集 ライブラリー情報として毎月のたよりと、前年度の記録を中心とした要覧を発行した。	受託

利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
編集スタジオ	878	1,214	16ミリフィルム・VTR編集
教材・機材貸出	964	(1,077 本)	16ミリフィルム・VTR等貸出し
集会室・研修室 等	2,496	58,713	会議・研修会・講演会等
計	4,338	59,927	

4 コンサートホール・能楽堂

豊田市の音楽、伝統芸能の拠点施設として「本物の芸術文化との出会い」、「伝統文化の継承」、「市民参加による芸術文化の創造」を3本柱に、独自性のある魅力的な事業を展開し、音楽文化の向上と伝統文化の継承に努めました。

■事業

世界的な一流の公演と親しみやすい公演のバランスを重視しながら、独自性の高い事業企画を目指すとともに、音楽団体や保存会等との共働により、地域文化の創造につながる事業を展開しました。また、子どもから高齢者まで気軽にクラシック音楽や伝統芸能を楽しく体験できる事業を提供し、文化芸術に興味を持つ市民層の拡大を図りました。

■運営

市民の文化活動の促進を図るため、利用手続きや利用方法において利用者側の立場に立った助言・指導を行い、利用率向上を図るとともに、利用者に施設運営・設備に関するアンケートを実施し、意見・要望を把握し、より使いやすい快適な施設運営に努めました。

事業一覧

【文化・芸術の創造、発信及び普及に関する事業】

文化・芸術の創造、発信及び普及を図るための事業

事業名	期日	人数	内容	事業区分
出前ステージ	10月10日	150人	自主公演 アウトリーチ活動として中心市街地で音楽や芸能を楽しんでもらう演奏会を開催した。	自主
お昼の名曲コンサート	6回/年	2,951人	自主公演 クラシックの名曲を気軽に親しむ60分のランチタイム・コンサートを開催した。	共催
市役所ロビーコンサート	4月～3月 計12回	1,520人	自主公演 市役所ロビーで毎月1回地元演奏家によるミニコンサートを開催した。	共催
出前コンサート	4月～3月 計12回	1,048人	自主公演 福祉施設や交流館などに地元演奏家を派遣してミニコンサートを開催した。	共催
お昼のパイプオルガンコンサート	5月15日 12月2日 3月10日	964人	自主公演 気軽にパイプオルガンの魅力に親しんでもらう60分のランチタイム・コンサートを開催した。	共催
市民クラシックコンサート	9月18日 19日	1,658人	自主公演 市内在住・在勤・在学・出身のクラシック音楽演奏愛好家によるコンサートを開催した。	共催
フレッシュコンサート	3月5日	206人	自主公演 市内出身で音楽大学を卒業する新人演奏家によるコンサートを開催した。	共催
市民演能会	11月6日 7日	312人	自主公演 市内在住・在勤の能楽愛好グループによる謡、仕舞などの発表会を開催した。	共催

コンサートホール フェスティバル	7月31日	759人	自主公演	親子でクラシック音楽に親しむことのできる演奏会やワークショップなどの体験型イベントを開催した。	共催
オペラハイライト 歌劇「トスカ」	4月25日	603人	主催公演	90分で楽しむ衣装つきオペラ・ハイライトで、第1回として、プッチーニの名作「トスカ」を開催した。	共催
映画音楽コンサート	5月30日	960人	主催公演	指揮・竹本泰蔵氏と名フィルによる映画音楽コンサート第2弾を開催した。	共催
松本美和子 & アンナ・クオ デュオ・リサイタル	6月19日	329人	主催公演	日本を代表するソプラノ松本美和子氏とその娘アンナ・クオ氏によるデュオ・リサイタルを開催した。	共催
ザ・キングス・シンガース	7月4日	777人	主催公演	結成40周年の英国ア・カペラグループ ザ・キングス・シンガースのコンサートを開催した。	共催
ハンス・ファギウス オルガン・リサイタル	7月10日	404人	主催公演	世界的オルガニスト ハンス・ファギウス氏によるオルガン・リサイタルを開催した。	共催
世界音楽の旅 「イタリア・ カンツォーネの世界」	8月22日	617人	主催公演	世界の本場音楽を身近で楽しむシリーズの第2回目で、イタリアの演奏家による本場カンツォーネの世界を紹介した。	共催
ショパン・シューマン・リスト 三大作曲家 ピアノ協奏曲コンサート	9月25日	568人	主催公演	生誕200年を迎える作曲家ショパン、シューマン、リストのピアノ協奏曲を一度に聴けるコンサートを開催した。	共催
ウィーンの森 バーデン市劇場 歌劇「ラ・ボエーム」	10月11日	587人	主催公演	オーストリアの名門歌劇場によるプッチーニの名作オペラ「ラ・ボエーム」を開催した。	共催
ショパン・エッセンス ガラコンサート	10月30日 (2回公演) 10月31日 (1回公演)	1,464人	主催公演	ショパン生誕200年を記念して、地元ゆかりのピアニスト3人によるオール・ショパン・プログラムのピアノ・コンサートを開催した。(3公演)	共催
メストレ 魅惑のハープ・リサイタル	11月14日	456人	主催公演	ウィーン・フィルのソロ・ハーピスト“ハープの貴公子”メストレ氏によるスペイン、ラテン音楽コンサートを開催した。	共催
ドイツ・カンマーフィル ハーモニー管弦楽団	11月28日	749人	主催公演	カリスマ指揮者パーヴォ・ヤルヴィ氏率いるドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団のコンサートを開催した。	共催

クラシック・バスカーズ	12月5日	399人	主催公演	様々な楽器で名曲を奏でる2人組、クラシック・バスカーズによるコンサートを能楽堂にて開催した。	共催
ローマ室内オーケストラ	12月12日	568人	主催公演	ローマ室内オーケストラがヴィヴァルディ「四季」等を演奏するコンサートを開催した。	共催
ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤー・コンサート	1月8日	909人	主催公演	“ワルツ王”ヨハン・シュトラウスが創設した由緒あるウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団によるニューイヤー・コンサートを開催した。	共催
マイケル・アンガー オルガン・リサイタル	2月19日	410人	主催公演	2008年武蔵野市国際オルガンコンクールの豊田市賞に輝いたマイケル・アンガー氏によるオルガン・リサイタルを開催した。	共催
アヤコ・ヨシダ・アルヴァニス ヴァイオリン・リサイタル	3月12日	294人	主催公演	海外で活躍する日本人の若手演奏家によるリサイタルで、ロンドン在住のヴァイオリニストアヤコ・ヨシダ・アルヴァニスのリサイタルを開催した。	共催
五月能	5月1日	420人	主催公演	朗読「夕顔」/平野啓子 能「半蔀」/友枝昭世(喜多流)を上演した。	共催
日本の伝統芸能 シリーズ22	6月6日	342人	主催公演	江戸糸操り人形、佐渡の「のろま人形」、恵那文楽寺、人形を使った様々な伝統芸能を紹介した。	共催
七月能	7月3日	293人	主催公演	能「景清松門之出」/梅田邦久(観世流) 狂言「禰宜山伏」/野村小三郎(和泉流)を上演した。	共催
ろうそく能	9月11日	302人	主催公演	能「殺生石」/衣斐正宜(宝生流) 狂言「死神」/茂山千五郎(大蔵流)を上演した。	共催
日本の伝統芸能 シリーズ23	10月2日	193人	主催公演	「日本の話芸&語り芸」と題して講談等を上演した。	共催
特別公演	11月21日	371人	主催公演	能「定家」/片山幽雪(観世流) 狂言「樋の酒」/井上靖浩(和泉流)を上演した。	共催
万作家狂言づくし 「通円」他	12月4日	432人	主催公演	野村万作家による狂言づくしの会を上演した。	共催

新春能	1月23日	350人	主催公演	能「絵馬」/香川靖嗣(喜多流) 狂言「末広かり」を上演した。	共催
三月能	3月20日	223人	主催公演	能「忠度」/宇高通成(金剛流) 朗読語り「平家物語」を上演した。	共催

文化芸術に関する人材育成を図る事業

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
青少年音楽教室	5月～2月 前・後期	32人 のべ 354人	講座、セミナー 育成	市内児童・生徒を対象に少人数の音楽教室を開催し、演奏法の基礎を習得する機会を提供した。	共催
オルガン体験講座	7月23日 24日	24人	講座、セミナー 育成	オルガン音楽普及を目的としたオルガン体験講座を開催した。	共催
【新】オルガンを楽しく聴くための講座	9月～1月 計3回	259人	講座、セミナー 育成	ポジティブ・オルガンと映像を利用して、オルガンをより楽しく聴くための講座を開催した。	共催
能狂言講座	9月～2月 計4回	417人	講座、セミナー 育成	能・狂言が見たくなる講座を4回シリーズで開催した。	共催
ふらっと能楽堂	4月～3月 計3回	222人	講座、セミナー 育成	気軽に能楽・伝統芸能に親しむためのサロン事業を開催した。	共催
親子で楽しむ わくわく能楽体験	8月29日	220人	体験活動	親子参加できる能楽の体験イベントを開催した。	共催
能楽体験講座	2月8日 ～19日 (5日間)	28人 のべ 123人	体験活動	お囃子、仕舞、謡の体験講座を開催した。	共催

【青少年の健全育成に関する事業】

音楽活動、科学体験活動を通じて青少年の情操教育を図る事業

事業名	期日	人数	内 容		事業区分
豊田市 ジュニアオーケストラ運営	通 年	58人	講座、セミナー 育成	豊田市ジュニアオーケストラの企画運営を行った。	受託

利用実績

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
コンサートホール	209	55,723	コンサート等
能楽堂	59	14,811	能・狂言・その他邦楽等
小ホール	91	4,637	講座・講演・ピアノ発表会等
リハーサル室 等	715	9,919	音楽・能・謡曲等のリハーサル
計	1,074	85,090	

5 青少年センター

当財団の中期目標計画に基づき、青少年団体やサークルとの相互協力体制を確立し、共働による事業展開を推進しました。また、青少年指導者の養成とボランティア体験活動の推進、青年スタッフの活用、ニート、ひきこもりや未婚・晩婚化など青年課題に対応する事業の推進、豊田市子ども会育成連絡協議会及び青少年団体傷害互助会の事務局機能の強化を図りました。さらに、青少年センター再整備計画の進展に取り組み、青少年の居場所・仲間づくりの拠点施設の実現を図りました。

■事業

青少年の自発的な社会参加を支援する「青少年指導者養成事業」、知識習得と仲間づくりを実現するための各種講座・交流イベントとして「青少年交流学習事業」、結婚やニート問題に対応する「青年自立支援事業」を展開しました。さらに、青少年団体の振興・発展に資するため、「青少年団体活動支援事業」として「子ども会事務支援」、「レク・運営指導者派遣」、安全意識向上と救済のための「青少年団体傷害互助会」など、運営の充実を図りました。

■運営

改善運動への全員参加、危機管理マニュアルに基づいた各種訓練の実施、利用者懇談会・青年サークル会の開催、利用者アンケートの実施など、市民に安全で快適にご利用いただけるよう、効率的な管理運営と市民サービス向上に努めました。また、メール配信登録者への情報提供、ホームページの充実や利用相談窓口の整備など、情報発信能力の向上を図るとともに、職員の専門知識・能力向上のため専門研修への参加や職場研修を推進しました。

事業一覧

【青少年の健全育成に関する事業】

青少年の社会参加と勤労青少年の福祉の向上を図る事業

事業名	期 日	人 数	内 容		事業区分
You・友・遊	11月6日 2月26日	42人 36人	体験活動等	結婚を希望する青年男女に健全な出会いの場を提供した。	自主
新春交流会	1月9日	78人	体験活動等	新年を祝うとともに、青少年団体、青年サークル、利用青年との交流を推進した。	自主
野外活動講座	6～10月 5回 11～3月 5回	前期28人 後期26人 のべ 276人	講座、セミナー 育成	野外活動やスポーツの体験活動を通して、仲間づくりと青年リーダーの育成を図る講座を開催した。	受託
高校生ボランティア スクール	5～3月 各コース 11回 コース外 34回	登録 114人 のべ 973人	講座、セミナー 育成	様々なボランティア活動や地域、社会参加を体験し、人とのふれあいや語りを通して、自立心と思いやりをもった青少年の育成を図る事業を保育・福祉・レクリエーションの3コースで開催した。	受託

レクリエーション指導者 養成講座	11～3 月 4 回	91 人	講座、セミナー 育成	レクリエーション団体との共働 により、子ども会や地域などの 催事におけるレクリエーション リーダーを養成した。	受託
ゆかた着付け教室	6～7 月 6 回	15 人 のべ 71 人	講座、セミナー 育成	おいでんまつりや地区の盆踊 りに向けて、自分で浴衣を着 られるよう学習の場を提供し た。	受託
料理教室Ⅰ・Ⅱ	5～7 月 8 回 9～11 月 8 回	29 人 30 人 のべ 395 人	講座、セミナー 育成	家庭料理の習得を通して「つ くる」「食べる」喜びを共感し、 男女の健全な出会いと交流の 場を提供した。	受託
着付け教室	10～12 月 8 回	12 人 のべ 77 人	講座、セミナー 育成	伝統文化への理解と着付けの 技術習得を図るとともに、仲間 づくりと交流の場を提供した。	受託
軽スポーツ体験講座 (リフレッシュヨガ)	10～12 月 5 回	27 人 のべ 83 人	講座、セミナー 育成	軽スポーツを通して健康の大 切さを考えるとともに、男女の 健全な出会いと交流の場を提 供した。	受託
リラクゼーション講座 (はじめてのヨガ)	5～8 月 6 回	32 人 のべ 120 人	講座、セミナー 育成	軽運動を通して心身をリフレ ッシュしながら、男女の健全な 出会いと交流の場を提供し た。	受託
文化体験教室 (グラスアート)	11～12 月 4 回	8 人 のべ 32 人	講座、セミナー 育成	文化に親しみながら個人の教 養を高め、仲間づくりの場を 提供した。	受託
スローライフ講座 (スローフード)	8～2 月 8 回	24 人 のべ 151 人	講座、セミナー 育成	環境に優しい生活や食の根 本を学びながら、男女の健全 な出会いと交流の場を提供し た。	受託
センスアップセミナー	3 月 6 日	32 人	講座、セミナー 育成	メイクやカラーコーディネイト などの基本を学び、社会人とし ての基本的なマナー習得の 場を提供した。	受託
こども茶華道教室	6～10 月 5 回 11～3 月 5 回	31 人 29 人 のべ 263 人	講座、セミナー 育成	小・中学生が茶華道の体験学 習を通して伝統文化に親し み、マナーと礼儀を身につけ る場を提供した。	受託
こどもものづくり工房	8 月 1・3・10 日 1月 9 日 計 4 回	163 人	講座、セミナー 育成	小・中学生がものづくり体験を 通して、創造する楽しさや科 学に対する興味を深めるとと もに、家族で作品を制作する 楽しさを体験する場を提供した。	受託
You me フェスタ 2010	5 月 16 日	86 人	体験活動等	野外体験活動やレクリエーシ ョンを通して、男女の健全な 出会いと交流の場を提供した。	受託

クリスマスパーティー	12月11日	211人 のべ 272人 (実行委員会含む)	体験活動等	青年による実行委員会の企画・運営によりホテルでのクリスマスパーティーを開催し、男女の健全な出会いの場を提供した。(男104名・女107名)	受託
【新】新春こども体験会	1月9日	1,672人	体験活動等	青少年や青少年団体との共働により、もちつき体験やゲームなどを企画・実施し、利用者間の相互協力体制を強化すると同時に、地域住民との交流を図る場を提供した。	受託
ブライダル講座	10月2日	31人	体験活動等	ブライダルをキーワードにコミュニケーションの方法を学びながら、未婚化・晩婚化を青年自身の問題として考える場を提供した。	受託
仕事体験塾	11月3日	32人	体験活動等	農業体験を通じて仕事に不安を持つ若者に対して適性診断・スキル習得の体験の場を提供した。	受託
とよた 2010 クリーン活動	6月5日	50人	体験活動等	青少年団体を中心に矢作川河川敷の清掃ボランティアをクリーン活動実行委員会との共催で行った。	受託
たまり場事業	通 年	登録者数 2,998人 のべ 32,864人	体験活動等	軽運動室での卓球・ダンス、インターネット、音楽練習、また学習開放など、青少年が気軽に利用できる施設づくりに努め、情報交換や交流を図る場を提供した。	受託

青少年団体の育成支援事業

事業名	期 日	人 数	内 容		事業区分
平成22年度財団大会	6 月 6 日	功労賞 5 人 奨励賞 1団体3人	表彰 コンクール	財団大会にて、青少年健全育成に優れた業績をあげた団体、個人を表彰した。	自主
【新】 青少年指導者講演会 【鈴木ひとみ講演会】	5 月 23 日	300 人	講座、セミナー 育成	青少年健全育成に資することを目的とする講演会を開催し、青少年団体活動及びボランティア活動を推進した。	自主
豊田市青少年団体 傷害互助会	通 年	664 団体 38,580 人	その他	青少年団体活動中の安全と事故防止のため、安全意識の高揚を図るとともに、不慮の事故に対して見舞金等の給付を行い、青少年団体の救済を図った。(見舞金:61 件)	自主

子ども会事務支援	通 年	—	相談・助言	豊田市子ども会育成連絡協議会(市子連)の会計事務を中心とした事務支援を図り、市子連の活動を推進した。 (市内:467 単位子ども会)	受託
【新】 青少年団体支援事業	10月24日 1月9日	6 団体	講座、セミナー 育成	青少年団体との共働事業を企画・実施し、指導者・リーダーの養成とともに団体活動の活性化を図った。	受託
ジュニアクラブ育成者 研修会	3 月 19 日	150 人	講座、セミナー 育成	ジュニアクラブ育成者の研修会及び発表を豊田市、豊田市青少年健全育成推進協議会との共催で行った。	受託
レクリエーション団体会議 レクリエーション・運営指導 者派遣事業	通 年	会議 12 回 派遣 74 回 運営指導 3 回	体験活動等	レクリエーション団体代表者の会議を開催して情報交換を行うとともに、子ども会などへレク指導者や運営指導者を派遣し、活動支援を行った。	受託
ユースホステル会員 加入・更新業務	通 年	32 人	その他	青少年層を中心に利用されているユースホステルの加入・更新業務を代行した。	受託

利用実績

○青年センター（１Ｆ）

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
集会室・音楽室・軽運動室 等	3, 089	30, 818	会議・バンド練習・卓球・ダンス 等

○勤労青少年ホーム（２Ｆ）

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
大会議室・視聴覚室 等	2, 336	32, 193	会議・研修会・映画会・茶華道 等

○その他

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
団体室・ロビー 等	516	38, 573	登録団体作業・会議・たまり場 等

（館外利用含む）

○総合計

総 合 計	5, 941	101, 584	
-------	--------	----------	--

6 総合野外センター

市の野外活動の拠点施設として、こども園、幼稚園、小学校、中学校のほか、子ども会などの青少年団体の野外体験学習の受け入れ、活動指導を通して青少年の健全育成を図りました。受け入れに際しては、各団体への直接指導の利点を活かし、きめの細かなプログラムを安全に提供しました。施設を利用される団体に、「豊かな自然がある」、「宿泊できる」などの、施設の特徴を最大限に活用した魅力ある活動プログラムが提供できるよう、自然環境を活かした活動プログラムの開発や、星空観察、ナイトハイキング、キャンプファイヤーなどの夜間活動プログラムの充実に努めました。

■事業

子どもの「生きる力」を育てることをテーマとした事業を積極的に展開しました。野外センター内での1泊2日のキャンプや、より困難な条件の中での4泊5日の移動キャンプでは、子どもたちの自主性や協力性を高めることを目的として、学校行事としてのキャンプでは体験できないような活動を企画・実施しました。

■運営

学校以外の青少年団体の利用を促進するため、利用希望団体が多い夏休み期間中の月曜日を開館し、利用受入枠の増加に努めました。また施設面においては、利用者が安全に施設を利用できるよう、利用者の視点で施設、設備の点検を実施し、不具合が見つければ早急に対応できる体制づくりに努めました。併せて、施設の営繕や自然環境の保全作業についての自主管理能力の向上に努め、経費の削減を積極的に図りました。

事業一覧

【青少年の健全育成に関する事業】

青少年の社会参加と勤労青少年の福祉の向上を図る事業

事業名	期日	人数	内容	事業区分
高校生ボランティア スクール	年間 13回	18人 のべ 88人	講座、セミナー 育成 高校生にキャンプスタッフのボランティア体験の機会を提供した。 (青少年センターと連携)	自主

野外活動を通じて青少年の健全育成を図る事業

事業名	期日	人数	内容	事業区分
星を見る会	5月22日	31人	体験活動 プラネタリウムで当日の星空を学んだ後、野外センターで本物の星空を大型望遠鏡で観望する場を提供した。 (産業文化センターと連携)	自主
	9月11日	136人		
	11月27日	68人		
	3月12日	53人		

【新】 チャレンジキャンプ	8 月 17～21 日	32 人 のべ 160 人	体験活動	長期の共同生活や自然の中での活動を通して、協調性や主体性、問題を解決する力を身につける機会を提供した。	自主
六所のつどい①～③	① 11 月 6～7 日	47 人 のべ 94 人	体験活動	集団での宿泊体験を通して、仲間作りや協力することの大切さを学び、季節に応じた自然体験を通して、自然の大切さ、すばらしさを学ぶ機会を提供した。	自主
	② 12 月 25～26 日	48 人 のべ 96 人			
	③ 2 月 19～20 日	44 人 のべ 88 人			
宿泊モデル子ども会事業	通 年	7 団体 344 人 のべ 688 人	体験活動	宿泊プログラムの開発と子ども会の宿泊利用促進を目的として、プログラム立案から当日運営までのサポートを行った。	自主
ファミリーキャンプ (家族開放)	4 月～3 月 第 2 土・日 (除 5 月・8 月)	123 家族 494 人 のべ 988 人	体験活動	家族でのふれあい・語らいの場として野外センターを開放した。各月ごとに特別プログラムを用意し、親子で参加する場を提供した。	受託
ファミリーウィーク	5 月 1～4 日	86 家族 189 人 のべ 378 人	体験活動	テント生活や六所の自然の中での活動を通して、親子のふれあいや家族間の交流を図る場を提供した。	受託
	8 月 7～13 日	70 家族 279 人 のべ 558 人			
山の子学級	5 月 16 日 6 月 19～20 日 7 月 10～11 日 9 月 18～20 日 11 月 27～28 日	49 人 のべ 477 人	講座、セミナー 育成	六所山の夏から秋の活動を通して自然の厳しさと、生きることの大切さを仲間と協力しながら学ぶ機会を提供した。	受託
キャンプインストラクター 養成講習会	3 月 4～6 日	12 人 のべ 36 人	講座、セミナー 育成	キャンプリーダーとしての基礎知識や技能を習得するための講習会を実施した。 (講習後、希望者に日本キャンプ協会認定キャンプインストラクター資格試験を実施)	受託
トレーニングキャンプ ①②	① 5 月 29～30 日	51 人 のべ 102 人	講座、セミナー 育成	野外センターのキャンプスタッフとして必要な基礎技能を習得する研修会を実施した。 (受講後、希望者は野外センタースタッフとして登録)	受託
	② 6 月 26～27 日	48 人 のべ 96 人			

利用実績

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
少年自然の家	136	26,837	宿泊研修等
青少年キャンプ場	284	36,973	野外活動等
運動広場	421	6,438	軽スポーツ等
資料館	34	1,498	動植物標本・民芸資料の展示
多目的ホール	128	11,633	軽スポーツ・雨天時等の活動等
研修室	47	2,714	〃
計	1,050	86,093	

7 産業文化センター

市民からの信頼を深め行政の期待に応えるために、多様な利用者ニーズを的確に把握し、より質の高いサービスを提供することを心がけるとともに、限られた予算の中で、いかに安全安心で効果的な施設マネジメントが行えるかを追求しました。特に科学体験館においては、市内唯一の科学に関する教育の拠点施設として、市民が気軽に科学に触れる生涯学習の機会の拡充に努めるとともに、青少年の科学に対する好奇心を深める事業を実施しました。

■事業

小中学生の科学やものづくりへの関心が高まる夏休みの新規事業として、「夏休み自由研究相談会」やワークショップなどを集中的に開催し、期間中の利用促進を図りました。また 22 年度で 5 回目となる「サイエンススクール」は全国的にも例の少ない、高校生が主体となったサイエンスショーであることを全面に事業 P R しました。プラネタリウム事業では新しいプラネタリウムの機能を最大限に活かした番組を自主制作し、より魅力的な番組の提供に努めました。

■運営

設置目的の達成に向けて、より利用しやすい施設を目指し、施設の貸出基準の見直しと緩和などにより受付事務の効率化を図るとともに、利用率の向上に努めました。また、C S アンケートなどから利用者ニーズを的確に把握し、柔軟な対応を心がけることにより利用者満足度の向上を目指しました。経費の削減と安全管理に対しては、職員一人ひとりが知恵を出して真剣に取り組む、市民から信頼される施設運営を行いました。

事業一覧

【青少年の健全育成に関する事業】

音楽活動、科学体験活動を通じて青少年の情操教育を図る事業

事業名	期 日	人 数	内 容	事業区分
プラネタリウムコンサート	12 月 4 日	昼の部 140 人 夜の部 149 人	体験活動等 プラネタリウムの満天の星空のもとでの地元演奏家によるクラシックコンサートを開催した。 出演：愛知室内オーケストラ弦楽四重奏、豊田市少年少女合唱団グレイス	自主
星を見る会	5 月 22 日 9 月 11 日 11 月 27 日 3 月 12 日	36 人 112 人 64 人 72 人	体験活動等 プラネタリウムで当日の星空を学んだ後、野外センターで本物の星空を大型望遠鏡で観望する機会を提供した。 (野外センターと連携)	自主
【新】 夏休み自由研究相談会	7 月 31 日 8 月 1 日	367 人	体験活動等 夏休みの小中学生の自由研究に関する展示と分野ごとの相談会を実施した。	受託

体験館事業支援者 講習会	1月8日	3人	講座、セミナー 育成	支援者の心構え、天文やもの づくりの技術や知識、参加者 への対応の仕方を習得する講 習会を分野ごとに開催した。	受託
	2月12日	13人			
サイエンスクラブ	6月20日 7月11日 8月1日 8月29日 11月28日 12月19日	20人 のべ 120人	講座、セミナー 育成	毎回テーマを変え、科学に関 する実験等を行い、一年かけ て科学的探究心を養う講座を 開催した。今年のテーマは【リ モコン装置】	受託
第5回サイエンス スクール	12月11日	46人	講座、セミナー 育成	中学校・高等学校に呼びか け、理科活動の一環として、サ イエンスショー制作に取り組 み、科学体験館で実演した。 参加校4校32人 見学者103人	受託
	12月12日	89人			
天文セミナー	5月29日	77人	体験活動等	初心者を対象とした実技体験 や天文に関する講演を行い、 広く天文に関心をよせる機会 を提供した。	受託
	11月20日	105人			
アストロクラブ 初級コース	6月6日 7月4日 9月5日 12月5日 1月9日 2月6日	50人 のべ 300人	講座、セミナー 育成	天文の基礎知識や星座の見 つけ方などを学ぶ機会を提供 した。	受託
アストロクラブ 中級コース	6月13日 6月27日 9月12日 12月12日 1月16日 2月13日	16人 のべ 96人	講座、セミナー 育成	望遠鏡製作や操作体験を行 い、天体観察に必要な知識、 技術を学ぶ機会を提供した。	受託
アストロクラブ 親子天体観測会	8月28日	24組 68人	講座、セミナー 育成	クラブ会員、保護者を対象 に、星のよく見える場所で天 体観望会を実施した。	受託
親子天文教室	7月18日	97人	体験活動等	親子を対象に天文・宇宙につ いて分かりやすく紹介し天文・ 宇宙に興味を持つ機会を提供 した。	受託
	2月26日	89人			
サイエンスショー 一般向け	土曜1回 日曜2回	8,341人	体験活動等	科学の原理など分かりやすく 紹介するパフォーマンスあふ れる実験ショーを実施した。 スペシャルサイエンスショー 3 回 一般向け144回	受託
サイエンスショー 学習・団体向け	通 年	8,073人	体験活動等	市内のこども園、幼稚園、小 学校の学習利用向けや一般 団体向けにサイエンスショー を実施した。	受託

ミニ ワークショップ	毎週土曜日・祝日 夏・冬・春 休み	16,878 人	体験活動等	20 分～30 分でできる簡単な 工作を実施した。	受託
ワークショップ	通 年	309 人	体験活動等	1時間半から2時間でできる実 験・工作教室を実施し、より深 くものづくり・科学の楽しさを体 験する機会を提供した。	受託
出前科学教室	6 月 6 日 9 月 26 日 10 月 24 日 11 月 7 日 1 月 29 日	423 人	体験活動等	出前という形で交流館などに 出向き、ワークショップ型の科 学教室やサイエンスショーを 実施した。	受託
プラネタリウム 番組制作事業	通 年	—	体験活動等	レンタル番組の投映、デジタ ル映像を取り入れプラネタリウ ム番組の充実を図った。	受託
プラネタリウム 利用促進事業	通 年	24 人	体験活動等	招待券を景品とした利用促進 につながるイベントを実施し た。	受託
出前天体観測会	20 回/年	1,121 人	体験活動等	出前という形で交流館などに 出向き、天体観望会を実施 し、天文・宇宙に興味を持つ機 会を提供した。	受託
宇宙絵画展	6 月 16 日 ～ 2 月 20 日	150,422 人	体験活動等	園児が描いた宇宙・月・星座 などの絵を展示した。 参加園 89 出展者 3,532 人 見学者 146,910 人	受託
星空散歩一般向け	80 回/年	3,158 人	体験活動等	星空の生解説と音楽鑑賞によ り、ゆったりとくつろげるプラ ネタリウム番組を月ごとのテー マに沿った星空解説により提供 した。	受託
夜の星空散歩	毎月第 3 土曜日 12 回/年	508 人	体験活動等	星空の生解説と音楽鑑賞によ り、ゆったりとくつろげるプラ ネタリウム番組を提供した。合 わせて市街地の夜空の観望会 を開催した。	受託
ものづくりひろば	土・日	6,858 人	体験活動等	幼児から小学生の親子がもの づくりの楽しさを体験する場を 提供した。	受託
夏休み工作教室	7 月 20 日 7 月 25 日 8 月 1 日	120 人	体験活動等	夏休み期間中に小学校の中・ 高学年が工作を作って遊ぶ 体験する場を提供した。	受託
出前工作教室	6 月 13 日 11 月 6 日 12 月 12 日 12 月 18 日	464 人	体験活動等	交流館などへ出前工作指導 を実施した。	受託

利用実績

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
小ホール	211	29,924	講演会・発表会等
多目的ホール	234	34,091	展示会・研修会・パーティー等
大広間	141	5,719	展示会・研修会等
視聴覚室・応接室・会議室等	3,477	87,112	会議・研修会・打合せ等
プラネタリウム	841	54,087	学習投映・一般投映等
サイエンスホール	311	179,485	学習見学・一般見学等
喜楽亭	99	6,460	茶会等
その他	5,493	177,661	中日文化センター等
計	10,807	574,539	

8 交流館

各交流館では、「地域課題の対応支援」、「地域住民の参画」を重要な視点として各地域の特色を活かした運営を目指すとともに、地域活動・課題の解決支援のための相談事業にも力を注ぎました。交流館の取り組みについては、交流館報、ホームページ、広報とよた、報道機関へ積極的に情報提供をし、効果的なPRに努めました。

■事業

各交流館では、市民一人ひとりが自分らしく充実した社会生活を営むため、生涯にわたりいつでもどこでも自由に学び、活動できる場を提供しました。また、地域活動の拠点、地域交流の場として、地域住民がお互いにつながりを持ちながら、地域のために自らが持つ力を発揮しあう場も提供しました。人が輝き、環境にやさしく、躍進するまちを描きながら、「人づくり」、「地域づくり」、「生きがいくくり」の事業を展開しました。

■運営

交流館担当の業務を仕分けすることにより、業務内容を明確にし、機能的に業務を遂行しました。常に、利用者の方々が何を求めているかを把握し、職員全員で顧客満足の推進に努めました。また、業務に必要な専門的研修を実施することにより、職員の資質向上を図りました。

事業一覧

【生涯学習の機会の提供及び地域活動の支援に関する事業】

地域住民の学習機会を提供する事業

事業名	期 日	人 数	内 容	事業区分
ふれあいまつり	9月～ 12月	25交流館 146,588人	講座、セミナー 育成 地域住民のふれあいと自主グループ学習成果の発表の場を提供した。	共催
家庭教育講座 子ども・高齢者向け講座 環境・防災・防犯講座 ボランティア養成講座等	通 年	のべ 192,669人	講座、セミナー 育成 市民一人ひとりが生涯にわたり自由に学び、学んだことを地域や社会に生かすことで豊かな生活を築けるように「シニア世代の生きがいくくり」・「子ども・親」・「環境」・「地域を考える」をキーワードとした事業を実施した。(事業数608件)	受託

地区コミュニティ会議に対する相談・助言、その他必要な支援を行う事業

事業名	期 日	人 数	内 容	事業区分
地区コミュニティ会議 支援事業	通 年	—	相談、助言 コミュニティ会議や地域で活動する団体などとともに、地域の課題や住民が住みよいまちづくりに向け、コミュニケーションを図り、解決に結びつける事業を展開した。	受託

その他の事業

事業名	期 日	人 数	内 容	事業区分
図書コーナー運営事業	通 年	—	市中央図書館とネットワークでつながっている図書コーナーを各交流館で運営し、地域住民に気軽に図書に触れていただく機会を提供した。	受託
猿投地域交流事業 5コミュニティ会議 スポーツ大会	9 月	53 チーム 507 人	スポーツを通じて5コミュニティにおける異世代交流を図るとともに、人づくり、明るい地域づくりを目的に大会を開催した。	受託

利用実績

施 設 名		件 数	人 数	利 用 内 容
逢妻交流館	会議室等	2, 297	38, 090	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	41, 974 冊	8, 660	図書の貸し出し
	その他	—	35, 102	個人利用・館外利用他
旭交流館	会議室等	480	7, 456	会議・研修・講座等
	図書室	8, 582 冊	2, 027	図書の貸し出し
	その他	—	14, 214	個人利用・館外利用他
朝日丘交流館	会議室等	5, 996	93, 760	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	59, 838 冊	12, 738	図書の貸し出し
	その他	—	75, 746	個人利用・館外利用他
足助交流館	会議室等	2, 135	41, 988	会議・研修・講座等
	図書室	15, 155 冊	3, 327	図書の貸し出し
	その他	—	31, 658	個人利用・館外利用他
トレーニングセンター他 体育施設		1, 166	41, 784	グラウンド・テニスコート・体育館・ 弓道場利用等
井郷交流館	会議室等	3, 368	69, 912	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	189, 541 冊	34, 089	図書の貸し出し
	その他	—	74, 081	個人利用・館外利用他
	体育施設	1, 809	39, 583	体育館・武道場
石野交流館	会議室等	2, 041	22, 577	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	11, 688 冊	2, 850	図書の貸し出し
	その他	—	25, 335	個人利用・館外利用他
石野運動広場		624	30, 753	グラウンド利用
稲武交流館	会議室等	1, 019	10, 633	会議・研修・講座等
	図書室	6, 245 冊	1, 866	図書の貸し出し
	その他	—	9, 181	個人利用・館外利用他

施 設 名		件 数	人 数	利 用 内 容
梅坪台交流館	会議室等	4,469	75,257	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	47,282 冊	13,160	図書の貸し出し
	その他	—	31,373	個人利用・館外利用他
小原交流館	会議室等	1,703	31,949	会議・研修・講座等
	図書室	16,804 冊	3,197	図書の貸し出し
	その他	—	6,201	個人利用・館外利用他
上郷交流館	会議室等	4,954	121,983	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	240,781 冊	42,678	図書の貸し出し
	その他	—	209,948	個人利用・館外利用他
上郷公園		1,429	53,628	グラウンド利用
猿投北交流館	会議室等	2,051	28,622	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	22,419 冊	4,754	図書の貸し出し
	その他	—	30,919	個人利用・館外利用他
猿投台交流館	会議室等	2,499	54,106	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	38,740 冊	9,138	図書の貸し出し
	その他	—	36,602	個人利用・館外利用他
下山交流館	会議室等	881	20,180	会議・研修・講座等
	図書室	15,324 冊	3,896	図書の貸し出し
	その他	—	16,990	個人利用・館外利用他
末野原交流館	会議室等	4,205	55,841	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	85,761 冊	19,815	図書の貸し出し
	その他	—	50,623	個人利用・館外利用他
末野原運動広場		791	28,288	グラウンド利用
崇化館交流館	会議室等	6,882	97,906	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	38,781 冊	9,162	図書の貸し出し
	その他	—	49,179	個人利用・館外利用他
高橋交流館	会議室等	3,045	49,487	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	40,945 冊	8,879	図書の貸し出し
	その他	—	30,551	個人利用・館外利用他
高橋運動広場		1,009	13,064	テニスコート・ゲートボール場利用
藤岡交流館	会議室等	1,454	28,693	会議・研修・講座等
	図書室	23,846 冊	5,051	図書の貸し出し
	その他	—	20,817	個人利用・館外利用他
総合グラウンド、体育センター 他体育施設		2,842	30,093	野球場・テニスコート・体育館、 グラウンド利用等

施 設 名		件 数	人 数	利 用 内 容
豊南交流館	会議室等	4,737	91,370	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	125,201 冊	27,352	図書の貸し出し
	その他	—	122,251	個人利用・館外利用他
保見交流館	会議室等	3,719	60,968	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	120,692 冊	27,347	図書の貸し出し
	その他	—	58,699	個人利用・館外利用他
保見運動広場		1,614	23,859	グラウンド、テニスコート等利用
前林交流館	会議室等	2,355	33,665	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	20,282 冊	4,466	図書の貸し出し
	その他	—	11,678	個人利用・館外利用他
益富交流館	会議室等	2,842	45,192	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	39,353 冊	9,529	図書の貸し出し
	その他	—	19,343	個人利用・館外利用他
松平交流館	会議室等	3,032	53,080	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	50,635 冊	10,091	図書の貸し出し
	その他	—	74,149	個人利用・館外利用他
松平運動広場		501	26,564	グラウンド利用
美里交流館	会議室等	4,352	56,866	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	43,172 冊	9,854	図書の貸し出し
	その他	—	45,055	個人利用・館外利用他
竜神交流館	会議室等	3,495	70,191	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	80,387 冊	16,095	図書の貸し出し
	その他	—	51,222	個人利用・館外利用他
土橋公園		1,537	17,166	グラウンド・テニスコート等
若園交流館	会議室等	2,499	41,683	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	32,638 冊	7,689	図書の貸し出し
	その他	—	23,276	個人利用・館外利用他
若林交流館	会議室等	3,214	55,713	会議・研修・講座・調理実習等
	図書室	67,805 冊	15,974	図書の貸し出し
	その他	—	43,376	個人利用・館外利用他

9 藤岡ふれあいの館

平成18年4月の開館より掲げている、「市民の交流促進と文化・健康増進」に基づく事業を実施しました。事業を着実に実行し施設の認知度をさらに高め、藤岡地域など豊田市北部地域を中心に、利用の増加を図り、施設の利用促進に努めました。

■事業

「囲碁教室」、「健康推進講座」、「ものづくり講座」などの様々な内容の講座を実施し、これまでに積み重ねた実績をもとに、地域住民の協力を得て、事業内容の充実に向けて一層力を注ぎました。

■運営

お客様に好感を持っていただく窓口対応を心がけるとともに、お客様の要望に迅速に応え、顧客満足度及び利用率の向上に努めました。また、より一層安心・安全な施設管理を行ない、使いやすく快適な施設環境を提供しました。

事業一覧

【生涯学習の機会の提供及び地域活動の支援に関する事業】

地域住民の学習機会を提供する事業

事業名	期日	人数	内	容	事業区分
子ども映画会	7月25日	270人	講座、セミナー 育成	子ども映画を通して親子のふれあいや参加者相互の交流と社会性を養う場を提供した。	自主
天体観測	9月12日	45人	講座、セミナー 育成	天体に興味を持ってもらい親子のふれあいや参加者相互の交流と社会性を養う場を提供した。	自主
ミニクリスマスツリー作り	12月19日	37人	講座、セミナー 育成	ものづくりの楽しさと親子のふれあいや参加者相互の交流と社会性を養う場を提供した。	自主
万華鏡作り	8月28日	24人	講座、セミナー 育成	ものづくりの楽しさと親子のふれあいや参加者相互の交流と社会性を養う場を提供した。	自主
竹とんぼ作り	7月31日	11人	講座、セミナー 育成	ものづくりの楽しさと親子のふれあいや参加者相互の交流と社会性を養う場を提供した。	自主
人形劇	7月11日	77人	講座、セミナー 育成	人形劇鑑賞を通じて、幼児を持つ親同士の仲間づくりに役立てる場を提供した。	自主
レクリエーション親子遊び	11月3日	25人	講座、セミナー 育成	親と子のふれあい、コミュニケーションを図る場を提供した。	自主
健康体操Ⅰ・Ⅱ期	9月～ 12月	33人 のべ 143人	講座、セミナー 育成	健康づくり講座への参加を通じて、高齢者が自立心を持って社会に貢献する能力を養う機会を提供し、10回開催した。	自主

アレンジメントフラワー	10月9日	20人	講座、セミナー 育成	講座への参加を通じて、参加者が自立の心を持って社会に貢献する能力を養う機会を提供した。	自主
パソコン教室1～5期	5月～2月	55人 のべ 149人	講座、セミナー 育成	高齢者の技術を養う場を提供した。1期3日を5回開催した。	自主
館だより	通 年	—	講座、セミナー 育成	館の PR、事業の周知を行い利用者の増加に努めた。年4回発行した。	自主
エコプログラム ブンブン飛行機	9月12日	8人	講座、セミナー 育成	工作を通して、子どもにゴミ減量の大切さを知ってもらい、エコに対する学習をする場を提供した。	自主
ロビーギャラリー	通 年	4,650人	講座、セミナー 育成	ロビーを開放し地域の方に発表の場所を提供した。	自主
はじめての囲碁教室	8月	67人	講座、セミナー 育成	地域との結びつきを深める、協賛講座を開催した。1期4日を1回開催した。	自主
学習室開放	学生の夏 期・冬期 休み中	58人	講座、セミナー 育成	地域のこどもの長期休暇中、部屋を開放し学習の場所を提供した。	自主
クラフト写真立て	1月6日	13組 22人	講座、セミナー 育成	親子のふれあい、コミュニケーションを図る場を提供した。	自主
健康講座Ⅰ・Ⅱ期	9・10月	53人 のべ 177人	講座、セミナー 育成	好評な種目を継続して実施し若年期の体力向上に寄与する場を提供した。1期4日を2回開催した。	自主
ピラティス1～11	通 年 (11回)	324人 のべ 1,028人	講座、セミナー 育成	好評な種目を継続して実施し若年期の体力向上に寄与する場を提供した。1期4日を11回開催した。	自主
卓球教室Ⅰ・Ⅱ	6月・9月	49人 のべ 333人	講座、セミナー 育成	施設の特徴を生かし、利用者の多い卓球教室を実施した。1期8日を2回開催した。	自主
卓球大会	12月11日	48人	講座、セミナー 育成	卓球教室の技量の成果と中学生との交流を図るため大会を開催した。	自主

(2) その他の事業

事業名	期日	内 容	事業区分
花いっぱい事業	通 年	駐車場入口に、植栽帯の開きスペースを活用して花壇を作り、利用者の方に気持ちよく施設を利用していただいた。	自主
販売事業	通 年	施設利用者へのサービス向上のため飲料水などの販売を行った。	自主

利用実績

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
多目的ホール	1,111	12,443	会議・研修会・スポーツ等
会議室 等	225	2,834	会議・研修会等
その他	—	8,438	プレイルーム他
計	1,336	23,715	

10 教職員会館

教育関係職員の研究・研修活動、福利厚生活動の拠点施設として、教育文化の振興を図りました。テニスコートにおいては、一般市民の体力の維持・増進とコミュニケーションづくりに活用されるよう、より質の高いサービスを提供することに心がけるとともに、安全安心で効果的な施設管理を行い、施設の認知度をさらに高め、利用者の増加を図り、施設の利用促進に努めました。

■運営

設置目的の達成に向けて、より利用しやすい施設を目指し、職員による創意と工夫で快適且つうるおいのある環境づくりを行い、明日の活力を生み出す厚生施設の充実と利用率の向上に努めました。また、利用者ニーズを的確に把握し、柔軟な対応を心がけることにより利用者満足度の向上を目指しました。経費の削減に取り組む一方、安全管理に対しては、職員一人ひとりが知恵を出して真剣に取り組み、信頼される施設運営を行いました。

利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
会議室等	1,302	39,859	会議・研修会等
その他屋内施設	323	4,745	研修会等
宿泊室	63	430	宿泊
テニスコート等	738	4,093	テニス
計	2,426	49,127	

Ⅳ 会議

1 理事会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回理事会	6月 2日	市民文化会館 大会議室	議案第1号平成21年度事業報告及び決算報告について 他5議案
第2回理事会	11月 11日		議案第7号移行認定申請書について 他5議案
第3回理事会	12月 2日		議案第13号財団法人豊田市文化振興財団給与規則の一部を改正する規則について 他2議案
第4回理事会	3月 29日		議案第16号公益財団法人豊田市文化振興財団会員規則について 他20議案

2 評議員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回評議員会	6月 2日	市民文化会館 大会議室	議案第1号財団法人豊田市文化振興財団監事の選任について 他6議案
第2回評議員会	11月 11日		議案第8号移行認定申請書について 他5議案
第3回評議員会	12月 2日		議案第14号財団法人豊田市文化振興財団理事の選任について 他3議案
第4回評議員会	3月 29日		議案第18号公益財団法人豊田市文化振興財団会員規則について 他20議案

3 監事会

名 称	期日	会 場	内 容
監 事 会	5月 27日	市民文化会館 会議室A	平成21年度豊田市文化振興財団決算監査について

4 表彰委員会

名 称	期日	会 場	内 容
表彰委員会	3月 15日	市民文化会館 会議室A	文化表彰及び青少年表彰の審査について

平成22年度重点戦略項目の評価指標に対する数値実績

重点戦略	評価指標		平成24年 目標値	21年度実績	22年度実績	評価
市民・利用者のために	重点1-1プログラムの充実					
	1-1	プログラム数	950プログラム	855プログラム(交流館642)	806プログラム(交流館608)	○
	1-1	実施回数	3,700回	3,461回(交流館1,769)	3,382回(交流館1,671)	○
	1-1	参加者数	400,000人	420,852人	474,205人	◎
	1-1	市制60周年事業の参画	各部1事業の実施	平成23年度7事業計画	平成23年度7事業予算化	×
	1-1	スクラップ＆ビルドを行ったプログラム数(文化部・青少年部)	★全体事業の10%	12.7%	14.6%	◎
	重点1-2市民ニーズの反映					
	1-2	外部評価制度の導入	第三者評価委員会の設置	平成22年度設置	各部専門委員会の設置	×
	1-2	市民からの要望を踏まえた事業数・改善数	★50件	(49／50)件	(77／50)件	○
	重点1-3社会の課題への対応					
	1-3	ものづくり関連プログラム数(産業文化センター)	110プログラム	97プログラム	78プログラム	×
	1-3	参加者数(産業文化センター)	参加定員80%以上	参加率89.13%(21,108人)	参加率84.8%(17,323人)	◎
	1-3	若年者支援事業の実施(青少年センター)	仕事体験塾の通年実施	2回／年の実施	2回／年の実施	◎
	1-3	未婚晩婚化対策事業の実施(青少年センター)	交流イベント講座開催10件	交流イベント開催6件	交流イベント開催5件	△
	重点1-4市民交流の促進					
	1-4	全市民を対象にした交流事業	フェスティバルの実施	平成23年度7事業計画	平成23年度7事業予算化	△
	1-4	文化交流センターの計画・設計段階への参画(文化部・青少年部)	各段階への協力、参画	計画延期	計画延期	×
	重点1-5施設の有効活用					
	1-5	各施設の特性(施設・部屋)を踏まえた利用率	65％→70%(5%増)	66.27%(会館コンサート産文青少年)	64.27%(会館コンサート産文青少年)	×
			相談窓口設置	全施設設置	全施設設置	◎
	1-5	施設の利用者数	5,100,000人	4,227,257人	4,461,756人	○
	1-5	学校休日受入枠(定数・団体数)に対する利用率(野外センター)	受入枠の60%	受入枠の79%	受入枠の86%	◎
	1-5	目標人数を上回る事業の割合	80%	57%	57%	△
総括	施設の利用者数の増は、稲武交流館が新設されたこと、交流館祭もインフルエンザの影響もなく予定通り実施できたことまた、昨年より選挙の数が多く行われ投票会場として交流館が使用されたことが考えられます。全市民を対象にした市制60周年交流事業の企画・計画も23年度実施に向けて内容・予算が決定し実行委員会等も発足し準備が進みました。指定管理料、業務委託料及び運営費補助金の削減の中、経費の大幅な見直しと効率的な予算の活用を進めました。					
財務の強化	重点2-1収入の増加					
	2-1	収益事業、広告料の金額・件数	公益法人改革動向を見て設定	公益法人改革動向を見て設定	公益認定取得(H23.3.22)	×
	2-1	助成金・寄付等の獲得額・件数				×
	重点2-2人件費の抑制					
	2-2	職員の定数	64人	64人	66人	◎
	2-2	繁忙期の他施設からの人員派遣	100人	30人	29人	×
	重点2-3事業等のスクラップ＆ビルド					
	2-3	事業評価Cランク以下の事業見直し	全て実施	全て実施	全て実施	◎
2-3	自立的な活動に繋がった事業数(自主グループ数)	1,300グループ	1,245グループ	1,170グループ	○	
総括	平成23年3月に県より公益認定の許可を受けました。新しい財団活動の広報、会員・寄付金の獲得をめざし平成23年度はプロジェクトチームを設置し実行に移します。 ※正規職員数の増減は指定管理施設数に比例する数値になっています。					
業務プロセス	重点3-1市民・地元機関との連携					
	3-1	財団の後援事業数(文化部)	160件	180件	175件	◎
		財団の後援参加者数(文化部)	200,000人	193,430人	337,243人	◎
	3-1	会員・登録団体・グループ・サークル数				
		特別会員数(文化部)	127件	103件	87件	△
		協議会団体数(文化部)	262団体	299団体	245団体	○
		協議会団会員数(文化部)	5,000人	4,872人	5,152人	◎
		友の会会員数(コンサートホール部)	5000人	3,764人	3,334人	△
		傷害互助会会員数(青少年部)	38,000人	38,150人	38,544人	◎
		青少年登録団体数(青少年部)	60団体	80団体	82団体	◎
	3-1	第三者評価委員会	設置	平成22年度設置	各部専門委員会の設置	○
	重点3-2PR・営業の充実					
	3-2	出前PR回数	100回	65回	77回	○
	3-2	新聞、雑誌、TV等の掲載数	120件	171件	385件	◎
	重点3-3事業企画・まちづくりを担う職員の人材育成					
	3-3	まちづくり・事業企画力等の専門性を向上させる研修の数	主事の経験年数ごとに4件	4件以上実施	4件以上実施	◎
	3-3	専門性を高める研修の数	各施設5件(会館コンサート産文青少年野外)	5件以上実施	5件以上実施	◎
	3-3	通信研修数	40人	29人	6人	×
		国内派遣研修数	7人	4人	5人	△
総括	特別会員・団体会員数が減少しています、団体会員の減少は団体の会員の減少により会が継続できなかったこと等考えられます。来年度は会員の増を目標に取り組みます。第三者評価委員会は、文化振興委員会・青少年育成委員会を設置しその会の中で事業評価を実施します。また、事業PRの面ではPRルートの開拓により大幅に掲載数が増加しました。研修については施設企画研修、外部主催研修への積極的な取組によりより専門性を高める研修が充実できました。反面予算削減の為通信教育の補助を取りやめたため通信研修数は大幅に減少しました。					

★の数値目標は5年トータルの数値

目標達成度(評価) ◎ 大幅達成(100%) ○ ほぼ達成(80%以上) △ 未達成(40%～79%) × 大幅未達成 39%以下